



2022年12月15日発行



ニュース&トピックス

コロナウイルス感染予防の取組み

トライアングルではコロナウイルス感染予防のため、来所された皆様に手指・靴の消毒・検温・マスクの着用をお願いしております。ご理解・ご協力をお願いいたします。

香野教授の保護者面談について

トライアングルでは、これまでのお子様の表れや、今後の在り方について、今月も保護者面談を実施します。面談は、静岡大学の香野 毅教授が行います。

12月の面談日程は、スケジュールが決まり次第、トライアングルの玄関に掲示します。

面談を希望される方は、トライアングルスタッフにお声がけください。

体育祭ポスター最優秀賞受賞

トライアングルに通所されている高校生が校内の体育祭ポスターで最優秀賞を受賞されました。トロフィーをモチーフにした素敵な作品ですね。おめでとうございます！



一年 はあっという間ですね？華やかなクリスマスイルミネーションで街が彩られ、ジングルベルの音に心躍る時節となりました。皆さんはどのようなクリスマスを計画していますか？お子さんたちもきっと心待ちにしていることでしょう。

ニュースレター第21号をお届けします。今回もお楽しみいただければ幸いです。

今年は平年よりも寒くなるとか。風邪などを引かないよう、くれぐれも気をつけてくださいね。

おしゃべりタイム

静岡県立御殿場特別支援学校 教諭 長田 三千絵

昼休 みと下校前のちょっとした時間に、子どもたちとのおしゃべりタイム「サロンOSADA」を開いています。「なんだか床屋さんみたいな名前ね。」なんて言われますが、嬉しいことに「先生、今日の昼休みあいていますか？」と聞きに来る生徒もでてきて、結構サロンは盛況です。たくさんおしゃべりしたい人、体の不調について相談にくる人、ただ静かに泣いて時を過ぎていく人、友達との関係で悩んでいる人、恋愛お悩み相談のカップル、など話の内容は様々です。子どもたちは聞いてほしい、伝えたい、知りたい、解決したい、という思いをたくさん持っているのです。人に話をするホッとすること、いいことがある！という経験を積み重ねてほしいと思っています。



多くの子どもたちは人にわかりやすく伝える、表現することが苦手です。自分の気持ちに気づいていないことも多いですし、ましてや過去を振り返って相手の気持ちを推し量ることは、とても難しいことです。

そこで、おしゃべりをする時にはコミック会話を使います。日時、周りの状況、自分や人々の言葉や気持ちなどが見える化するためです。「先生、棒人間しか描けないの？でも絵があると話がよくわかるよ！」「あ、私、この時強い言い方だったかも…。」「帰ったらお母さんに謝りかな…」

「え！Aさんが言った『まじめだね〜』って誉め言葉だったの？私、悪口を言われたと思ってた！」とお互いの思いがよく見えてくるようです。



『鶴がサンタを連れてやって来た』トライアングル通所、中学2年生制作品

私がコーディネーターとして連携している学校の中に、「どうしてその言葉を発したのだろう？」「なぜ、その行動を起こしたのだろう？」「どんな気持ちだったのだろう？」と思い馳せながら、コミック会話を交えて生徒とやり取りを続けている高等学校があります。「生徒が自

分自身の感じ方や感情に気づけるようになってきた。私たちもそれを共有できる喜びがある。気持ちが安定してきて授業も落ち着いて受けられるようになってきた。」お互い、人と向き合う素敵な時間になっているのですよね。

子どもたちの心と向き合うおしゃべりタイムは私にとってエネルギー充電タイムとなっています。ということは、私の心の叫びを子どもたちは受け取ってくれているのだと思います。感謝です。



スタッフ紹介



加藤 理子 先生

好きなこと：休日にゆっくり映画やアニメを観る時間が好きです。ついにはプロジェクターも購入！（笑）子どもたちにおすすめの作品を教えてもらえることもあるので、色々なジャンルに触れられて楽しいです。

やりたいこと：運動をしたいです。中高生の子どもたちから飯テロを受けることもあり、耐えきれずにたくさん食べてしまう日々…。これから本格的に冬が始まるという恐怖…頑張ります。

一言：子どもたちとコミュニケーションを取っていく中で、話す内容が濃くなってきたり、自分から話しかけてくれるようになったりとしつつの変化が嬉しい日々です。これからも一人一人が安心して過ごせる場を目指し、子どもたちに寄り添えたらと思います。

教室のひとこま

教室の様子はホームページでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



みんなでスクラッチアートに挑戦。絵を書いたり、文字を削ってみたい・・・それぞれ素敵な作品ができました。



「これピザに見える」「そうだ、釜でピザを焼こう！」発想力豊かな2人で新しいお店をオープンさせました。



紙粘土でアイスクリーム作り。お手本のアイスクリームを見ながら、アレンジを加え本物そっくりなアイスクリームが完成！



30秒間の真剣勝負！スタートの合図と共に、勢いよくしっぽ取りが始まりました。

子育てのヒント 『達成感を味わわせる褒め方を』

自分 の子どもを褒める習慣がないからか、日本の子どもは他の国と比べると自尊心が低いと言われています。しかし、自尊心を高めることは非常に重要です。いつも叱られているばかりでは、ネガティブな自己イメージしか持てなくなってしまいます。褒められると『自分には良いところがある』と感じ、自分を好きになることができるようになります。以下のポイントを押さえて実行してみましょう。1. **結果だけでなく過程を褒める。**「頑張って宿題をして偉かったね」というように過程を褒める。2. **具体的に褒める。**「すごいね」「えらいね」だけでなく、何が良かったのかを具体的に。3. **皮肉や嫌味を言わない。**「珍しい！」「いつもこうだといいね」などと皮肉を言わないように。どうしても褒められない場合には、褒め言葉だけでなく「ママが作ったご飯を全部食べてくれてありがとう」というように感謝の気持ちを伝えたり、失敗した時でも「頑張ったね」と言ってあげることで良いのです。何よりも『あなたが大好き』『かけがえのない存在』という気持ちが伝わるのが大切だということを忘れないようにしましょう。

スタッフのオススメゲーム『レシピカードゲーム』

具材

を集めて料理を作るカードゲームです。プレイ人数は2～4人。まずキッチンカウンターをセットし、各々にメニューカードを1枚と具材カードを6枚ずつ配り、残った具材カードはテーブル中央に。自分の番がきたら必要のない具材カードを1枚捨て具材カードを引きます。そのカードが必要なら裏返しにしてキッチンカウンターに。いなければ手元にストックします。他プレイヤーが捨てた具材カードが必要なら、「レシピ！」と宣言して、そのカードをもらい、必要のないカードを1枚捨てます。この繰り返しでゲームは進行し、メニューカードにのっている具材を誰よりも早くあつめて、料理を完成させた人の勝ちです。このゲームで以下のような力を伸ばすことが期待できます。1. **料理や食材への興味が出てくる。**2. **推理する力・記憶力が鍛えられる。**相手のレシピを知るために、相手のもらったカードを記憶したり、捨てたカードから推理することが重要。3. **視覚注意力がつく。**具材カードを見逃すと、勝つことができなくなる場合があるので、捨てられたカードに注意しておく必要があります。ご家族でも盛り上がり、楽しめるオススメのゲームです。



編集後記

渡部昇一さんの著書『95歳へ！』に、誰でも若い時にやり残したことがあるはずで、豊かな晩年のためにそれをやるべしとある。私は高校生の時にやりたいことがたくさんある中で音楽を選んで音楽大学に入学した。しかし、『コソコソ型』ではない私には一番向いていない選択をしてしまったのだと思う。その時、諦めたのは映画監督と建築家。今は時代が変わってYouTubeで映画監督のようなことはできるし、最近自宅の設計をしてそれも叶えた。95歳までにはまだタブリ時間があるぞ！（M）

トライアングル

放課後等デイサービス

特定非営利活動法人 しずおか福祉の街づくり

〒420-0032 静岡県葵区両替町1丁目7番5号 放生館2F

TEL：054-273-1177 FAX：054-266-4037

トライアングル・トライアングル両替町教室

ホームページ：https://www.shizuoka-fukushi.or.jp/

メールアドレス：triangle@shizuoka-fukushi.or.jp